



平成 25 年度総会資料



と き 平成 25 年 6 月 7 日(金)14 時

ところ 三重県教育文化会館第 4 会議室
津市桜橋 2 丁目 142 番地

三重の畜産女性の会 サン・カラット

所在地 津市桜橋 1 丁目 649 番地 農業共済会館
一般社団法人 三重県畜産協会内

平成 24 年度事業報告

一昨年 3 月に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に多くの畜産生産者が被災しました。飼料が供給されなかったり、家畜を見捨てざるを得ないような状況に追い込まれた生産者の心痛は察するに余りあるものです。

サン・カラットの研修会では、被災された生産者から直接お話を聞く機会を持つことができました。苦しい避難生活の中で畜産から少し離れたものの、新しく農業に活路を拓かれたお話を聞きほっと安堵感も感じました。

日本の畜産は、引き続き海外の状況に揺れ動かされています。平成 24 年夏に発生した米国の大規模な干ばつによりトウモロコシが大幅な減産となり、史上最高値を記録しました。一方では、諸外国との国際協調を図りながらも、厳しい態度で T P P 交渉の行方を見守ることにもなりました。

このように畜産をめぐる環境は、消費減退や価格低迷を含め引き続き厳しいと予想されますが、世界的な食料不足を勘案すると、我が国の食に係る畜産の重要性はさらに高まっていくと思われまます。

さて、平成 24 年度のサン・カラット活動のいくつかの場面で、「後継者」の大切さを感じ取りました。いろいろなテーマでお話を聞いたり意見交換をしましたが、後継者がいることで、自然に湧き出てくる「元気」を見させてもらったように思います。

前述のような厳しい畜産環境の中であって、親の背中を見ながら後を継いでいこうとする者がいることが、その経営の活力になっていると感じました。

私たちのサン・カラットも仲間が集うことで、見えないパワーを生み出しているのではないのでしょうか。特に独自性の高い活動内容でもありませんが、少しずつサン・カラットの活動が実を結びつつあるのを感じています。

1 総会

- ・とき：平成 24 年 6 月 25 日（月）
- ・ところ：松阪市橋西地区市民センター
（松阪市川井町）
- ・出席者数：総数 43 名（うち会員 18 名）
- ・協議内容：平成 23 年度事業実績の報告、平成 24 年度事業計画の提案

代表世話人補佐の江尻さんから「東日本大震災の被災者に対し、物資の支援をしたことで、サン・カラットの活動が広がりを見せた。この活動を通して、サン・カラット会員や他組織の仲間と一緒に活動できたということに意義を感じた。今後も女性ならではの視点で、共に歩み、励まし合えるサン・カラットでありたい。」と挨拶しました。

来賓としてご出席いただいた三重県農林水産部農畜産課中村副課長様からは、「畜産





における女性の役割にも変化が見られる。女性ならではの活躍が見られるので、今後も期待を込めて応援したい。」と祝辞をいただきました。

2 研修会・交流会等の開催・参加

1) サン・カラット研修会（総会と同日開催）

平成23年11月に行った東日本大震災被災者への物資の支援活動報告と、被災された肉用牛生産者（鶴沼久江さん：福島県双葉町）ご自身の体験を聞きました。

この研修会には、支援活動を協力していただいた方々の参加もあり、総勢57名の聴講となりました。

鶴沼さんからは、避難所の生活の厳しさや牛を死なせてしまったことの悲しさを訴えるとともに、避難先で新たに米や野菜作りを始めたことについてお話しがありました。



2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会に参加

- ・とき：平成24年9月19日（水）
- ・ところ：三重県総合文化センター多目的ホール（津市）
- ・出席者数：総数167名（うちサン・カラット会員7名）



《講演》

三重大学西村教授から「生命食について」と題して、産学共同により県内産の農産物を使い、健康を創り守る食品としての認識をもち、その価値を認めてもらおうという趣旨のお話を聞きました。

また、中央会葛西部長からは、「元気な高齢者を目指して」と題し、認知症についてお話がありました。

《2分間スピーチ》

交流会参加各団体の会員が、日頃の想いや経営のこと、家族のことなどについて、2分間でスピーチしました。サン・カラットからは松葉由起子さん（いなべ市：養豚）、河井シゲヨさん（志摩市：養豚）が登壇しました。

3) 第25回農山漁村のつどいへの参加

- ・とき：平成25年2月5日（火）
- ・ところ：三重県総合文化センター多目的ホール（津市）
- ・出席者数：総数220名（うちサン・カラット会員10名）

今回のつどいでは、豊かな環境や農林水産物、伝統・文化など農山漁村の魅力を活かした地域づくりや、それらを次世代につないでいく活動の大切さについて講演や事例発表がありました。



《講演》

子どもが作る“弁当の日”提唱者の竹下先生から、「子供たちに弁当作りを体験させることで、食の大切さを知り、子供たちの成長につながっていく。子供たちに自立の気持ちが芽生えたり、弁当を通して家庭内での会話も増えた。」というお話をお聞きしました。

《事例発表》

漁協女性部からは、海と山との交流活動として長年にわたり実施してきた交流の活動についての報告等がありました。

《即売会》

お昼の時間を利用して、会員大西京子さんの協力により、豚肉や加工品を販売しました。ポピュラーなローズやバラに加えてスペアリブやウィナがお客様の人気を得ていました。



4) J A 松阪女性組織連絡協議会との交流会

- ・とき：平成 25 年 2 月 18 日（月）
 - ・ところ：クボタピッグファーム（鈴鹿市）
 - ・出席者数：総数 12 名（うちサン・カラット会員 5 名）
- 午前中の「豚まん」づくりに続き、午後からはサン・カラットの活動状況やクボタピッグファームの直販に取り組む経営内容等について報告し、J A 松阪会員らと意見交換の時間を持った。



5) 料理教室

- ・とき：平成 25 年 3 月 4 日（月）
 - ・ところ：クボタピッグファーム（鈴鹿市）
 - ・出席者数：総数 20 名（うちサン・カラット会員 16 名）
- この料理教室では、会員から提案されたレシピを、会員同士が「教え、教えられる」立場で開催しました。

〔提案されたレシピ〕

牛乳・乳製品を使った料理（メニュー提供 渡辺節子さん）

『こんこんコーン』、『トースターでできる！カップオムレツ』

牛肉を使った料理（メニュー提供 加藤美子さん）

『フライパンでできる！簡単ミートローフ』

豚肉を使った料理（メニュー提供 伊藤舞香さん）

『国産豚肉ごはん』

鶏卵を使った料理（メニュー提供 川北淳子さん）

『煮たまご』



3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌の発行

① サン・カラット通信第 17 号（平成 24 年 7 月発行）

- ・ 総会で新年度スタート（総会・研修会の開催内容）
- ・ 寄稿「子育て奮闘中」（松葉さん、山下さん、片岡さんからの寄稿）

- ・ 農水省原田課長が来県
- ・ 国際養鶏養豚総合展が開催されました。
- ・ 父の日に乳
- ・ いきいきネットワーク大会開催のお知らせ

② サン・カラット通信第 18 号（平成 24 年 10 月発行）

- ・ 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会に参加
- ・ 同大会参加者からの寄稿（山下さん、松葉さん、竹内さん）
- ・ 池田富美子さん（岡山県、肉用牛）
- ・ 漁協・酪農・畜産・JA 女性部交流会に参加
- ・ 近況報告「古民家風隠れ家完成」（窪田さん）
- ・ 寄稿「新米ママ誕生」（前川さん）
- ・ お知らせ：口蹄疫テーマのドラマ「命のあしあと」放映予定

③ サン・カラット通信第 19 号（平成 25 年 3 月発行）

- ・ 加藤牧場が日本農業賞大賞を受賞
- ・ 農山漁村のつどいに参加
- ・ JA 松阪女性部との交流会
- ・ 賑やかに料理教室開催



3) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、活動状況等を広報しました。

サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>



4 会の運営等の活動・その他

1) 世話人会の開催

- ・とき：平成24年5月8日（火）
- ・ところ：三重県健保会館（津市）
- ・出席者：サン・カラット世話人3名、県主務課1名、畜産協会1名
- ・協議内容：平成23年度実績、平成24年度活動計画等

※この会議は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。

2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会への参加

- ・とき：平成24年8月29日（水）
- ・ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）
- ・出席者：101名（三重県から7名、畜産協会1名）

『1×2×3＝届けよう！私たちの思い』～全国からのメッセージ～というテーマのもとで、シンポジウムや事例発表そしてディスカッションがありました。

大会終了後の懇親会の場では、三重県のメンバーが主役となって「オクラホマ・ミキサー」を踊り、楽しい時間を過ごしました。



5 平成 24 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 24 年度収支計算書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
会費	175,000	170,000	5,000	5,000 円×34 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	17,000	13,000	昼食会負担金 1,000 円×17 人
雑収入	50	55	▲ 5	預金利息
当期収入合計(A)	205,050	187,055	17,995	
前期繰越収支差額	239,464	239,464	0	
収入合計(B)	444,514	426,519	17,995	

2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	214,500	110,277	104,223	表外※1 参照
会議費	600	0	600	
会場費	4,000	0	4,000	
旅費交通費	26,000	7,110	18,890	事務局延べ 4 回
通信運搬費	28,800	11,020	17,780	振込代 1,260 円、切手代 9,760 円
消耗品費	6,000	6,000	0	事務消耗品費 6,000 円
印刷製本費	10,000	10,000	0	コピー代金
賃金	51,600	51,600	0	事務局 6 日分
事務諸経費	6,000	0	6,000	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)	352,500	196,007	156,493	
当期収支差額 (A)-(C)	▲147,450	▲ 8,952	▲138,498	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	92,014	230,512	▲138,498	



※1 特別事業費 (110,277 円) の内訳

会議費	31,200 円	総会時昼食会 24,000 円、農山漁村のつどい弁当代 7,200 円
会場費	30,000 円	J A 松阪交流会、料理教室
通信運搬費	4,930 円	特別事業開催案内
謝礼	4,725 円	6/25 講師お礼
負担金	21,357 円	J A 女性部交流会負担金
材料費	18,065 円	料理教室材料費

※参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援

世話人会開催費用	15,717 円	旅費、会場費等
研修会開催費用	49,568 円	旅費、会場費等



三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。

平成 25 年度事業計画（案）

3年前に大きな期待を背負って誕生した民主党政権でしたが、昨年末の衆議院選挙で自民党が圧勝し、日本経済の再生に向けてスタートが切られました。すでに株価が上がり経済効果が現れ始めている業界もあるようですが、私たちは円安の傾向に一喜一憂しています。

飼料を輸入に頼る我が国の畜産にどれほどの荒波が寄せてくるのか、今のところ、先行きは不透明です。

また、政府はTPP交渉で「コメ、麦、牛肉・豚、乳製品、甘味資源作物」を聖域として日本の農業を守る姿勢を示していますが、今後の本格的な交渉に大きな要望と期待を抱かずにはられません。日本から世界に目を向けながら経営を維持発展させなければならぬ日々が続きます。

私たち畜産に携わる女性は、今後も知識を得ながら自らをスキルアップしていかなければなりません。畜産仲間が集うサン・カラットの場でも、耳をそばだて、アンテナを伸ばしているといろいろな情報を交換できます。また、なによりも畜産の仲間として共に歩み、励まし合えることが力となり、将来の夢へとつながっていくと感じています。

今年度も、以下に提案する内容を柱にして、元気に活動を続けていきたいと思えます。また、活動の推進に当たっては、会員の皆さんからのご意見やご要望をお待ちしています。



1 研修、会員相互の交流等の活動

日々の仕事に追われると自分の時間を持つという意識もいつの間にか薄れがちになり、その結果として自分の時間が減っていきます。仕事に関係する勉強もついつい疎かになってしまうのが一般的な傾向ではないでしょうか。もちろん、一人で本を読んで勉強している人がいないとは言えませんが、「成果が出た」というところへたどり着くのは大変なことではないでしょうか。

そこで、同じような仲間が集まる研修が必要になってきます。

研修の場では、新たに知識を得たり、スキルアップを図れることはもちろんですが、熱心な人と同席することで、モチベーションも上がります。ぜひ、研修の場（皆さんが集まる場）に積極的に出かけ下さい。参加することによって、半強制的に自分を非日常的な環境に置いてみて下さい。

1) 総会・研修会

とき：平成 25 年 6 月 7 日（金）

ところ：三重県教育文化会館（津市）

内容：①総会

平成 24 年度事業実績の報告、平成 25 年度事業計画の提案

②研修会（三重県養鶏協会との共催）

講師：畠中 五恵子さん「筑前飯塚宿たまご処卵の庄」店舗運営責任者

内容：獣医師として、生産者としてそして 5 児の母として、鶏卵の生産・直販に取り組んでいる日常のアレコレをお話しいたします。

2) 漁協・酪農・畜産・J A 女性部交流会

とき：平成 25 年 8 月 2 日（金）

ところ：華王殿（松阪市）

内容：①講演 ②加藤牧場（加藤美子さん）の事例発表（日本農業賞大賞受賞事例）

③2 分間スピーチ ④即売会 ⑤抽選会

3) 農山漁村のつどい

とき：平成 26 年 2 月頃

4) 交流会（料理講習会）

とき：平成 25 年秋期



5) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会

とき：平成 25 年 8 月 27 日（火）

ところ：中野サンプラザ（東京都）

2 情報発信・情報交換による交流

毎年度、一人でも多くの会員の皆さんに参加してもらえよう企画を計画し開催していますが、一堂に会すことはなかなか難しいのが実情です。これを埋めるためにも会の活動状況や会員のようすを伝えることで、サン・カラット活動への理解も深まり評価を受けられると思います。

1) 会員誌の発行

会の活動状況が中心となりますが、日頃の会員の皆さんのようすやお考えを伝える手段として、会員誌「サン・カラット通信」を年 3 回発行する予定です。

平成 24 年度の会員誌は、会員の皆様からの寄稿をいただき、これまでに増して豊かな内容であったと思います。今後も会員の皆さんには、積極的なご参加（投稿等）によるご協力をお願いします。

2) ホームページによる情報発信

会員誌と重複する内容も多々ありますが、ホームページの特徴を活かして、会員以外への情報発信をします。

インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角で「サン・カラット」の情報発信を行います。



3) その他の情報提供

サン・カラットの活動状況等については事務局で把握できますが、皆さんの周りで見つけたニュースは、そのままではつかむことができません。

会員の皆さんの「活躍場面」や「うれしい出来事」あるいは他のグループの活動情報等を気軽に事務局へお寄せ下さい。

広い範囲から得られた情報は、随時、皆さんにお伝えしたいと思います。

3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

私たちが生産している畜産物の国際競争力は必ずしも高くありません。

安価な輸入畜産物による価格競争にさらされている中では、「国産」の良さを幅広く理解してもらったうえで、支持を得て国内市場のシェアを確保しなければなりません。

消費者の皆さんに積極的な働きかけをすることは、女性ならではの役割です。このためには、もっと畜産物について学び、正しい情報を消費者の皆さんに伝えていきたいと思っています。

4 その他会の運営に必要な活動

サン・カラットの世話人会では、サン・カラットの活動が少しでも有意義なものできるように活動内容を検討しながら実施していますが、さらに魅力あるものにしていくには皆さんからの提案がとても大切なものだと思っています。ぜひ、皆さんの声をお聞かせ下さい。

さて、他県にもサン・カラットと同様の組織が生まれ育っています。

また、全国組織の「全国畜産縦断いきいきネットワーク」も熱い想いを結集して活動しています。「いきいきネット」への参加は皆さんのモチベーションをもっと上げてくれることでしょう。会員以外の方も全国大会へは自由に参加もできます。これを機会にもう一步前に踏み出してみましよう。



5 平成 25 年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 25 年度収支予算 (案)

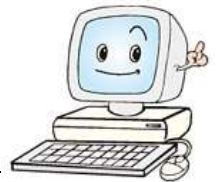
(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	185,000	175,000	10,000	会費 5,000 円×37 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	30,000	0	参加費 1,000 円×20 人×1 回 材料費負担 500 円×20 人×1 回
雑収入	50	50	0	預金利息
当期収入合計(A)	215,050	205,050	10,000	
前期繰越収支差額	230,512	239,464	▲8,952	
収入合計(B)	445,562	444,514	1,048	

*サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店
口座名義 三重の畜産女性の会
口座種別 普通預金 口座番号 0003584



2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	200,500	214,500	▲14,000	表下※1 参照
会議費	600	600	0	100 円×6 人×1 回
会場費	4,000	4,000	0	世話人会
旅費交通費	24,000	26,000	▲2,000	事務局延べ 4 人、世話人 4 人
通信運搬費	16,800	28,800	▲12,000	会報等郵送料、振込手数料
消耗品費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
印刷製本費	11,000	10,000	1,000	コピー利用料
賃金	51,600	51,600	0	8,600 円×6 日
事務諸経費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	325,500	352,500	▲27,000	
当期収支差額 (A)-(C)	▲110,450	▲147,450	37,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	120,062	92,014	28,048	

※1 参照 (特別事業費)

会議費	101,000	2,000 円×20 人×1 回 3,000 円×15 人×1 回 800 円×15 人×1 回 100 円×40 人×1 回	謝金 印刷製本費 通信運搬費 材料費	18,000 3,700 14,800 20,000	研修講師 1 人 5 円×37 人×20 枚(コピー) 80 円×37 人×5 回(通知) 20,000 円×1 回(食材)
会場費	23,000	総会、研修会			
旅費	20,000	研修会			

三重の畜産女性の会

サン・カラットへのお誘い

三重の畜産を支える女性の皆さんが交流できるグループを作りたいと思います。
一人ひとりの小さな力もたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。
なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産や畜産物についての理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合しましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！

皆でまず一歩！これがスタートです。



三重の畜産女性の会 サン・カラット

事務局 一般社団法人 三重県畜産協会

電話 059-213-7512

FAX 059-221-0109

E-Mail info@mie.lin.gr.jp

津市桜橋 1 丁目 649 番地 農業共済会館

平成 25 年予算（特別事業費の内訳詳細と負担予定）

科目	金額	積算	負担区分		
			会費	特別徴収	協会
会議費	101,000	2,000 円×20 人×1 回（昼食会） 3,000 円×15 人×1 回（JA 女性部負担金：昼食含む） 800 円×15 人×1 回（農山漁村弁当代） 100 円×40 人×1 回（総会お茶代）	20,000 45,000 12,000 4,000	20,000	
会場費	23,000	5,000 円（総会、研修会）、18,000 円（調理教室）	5,000		18,000
旅費	20,000	20,000 円×1 回（研修会講師）	10,000		10,000
謝金	18,000	18,000 円×1 回（研修会講師）			18,000
印刷製本費	3,700	5 円×37 人×20 枚（コピー）	3,700		
通信運搬費	14,800	80 円×37 人×5 回（開催通知）	11,840		2,960
材料費	20,000	20,000 円×1 回（調理教室食材）	10,000	10,000	
	200,500		121,540	30,000	48,960

平成 25 年度収支予算の負担状況

科目	収入額	負担区分		
		会費	特別徴収	協会事業
会費	185,000	185,000		
寄付金	0			
特別事業費収入	30,000		30,000	
雑収入	50	50		
当期収入合計(A)	215,050	185,050	30,000	

科目	支出額	負担区分		
		会費	特別徴収	協会事業
特別事業費	200,500	121,540	30,000	48,960
会議費	600			600
会場費	4,000			4,000
旅費交通費	24,000	10,000		14,000
通信運搬費	16,800	16,800		
消耗品費	6,000	6,000		
印刷製本費	11,000	11,000		
賃金	51,600	51,600		
事務諸経費	6,000	6,000		
雑費	5,000	5,000		
当期支出合計(C)	325,500	227,940	30,000	67,560